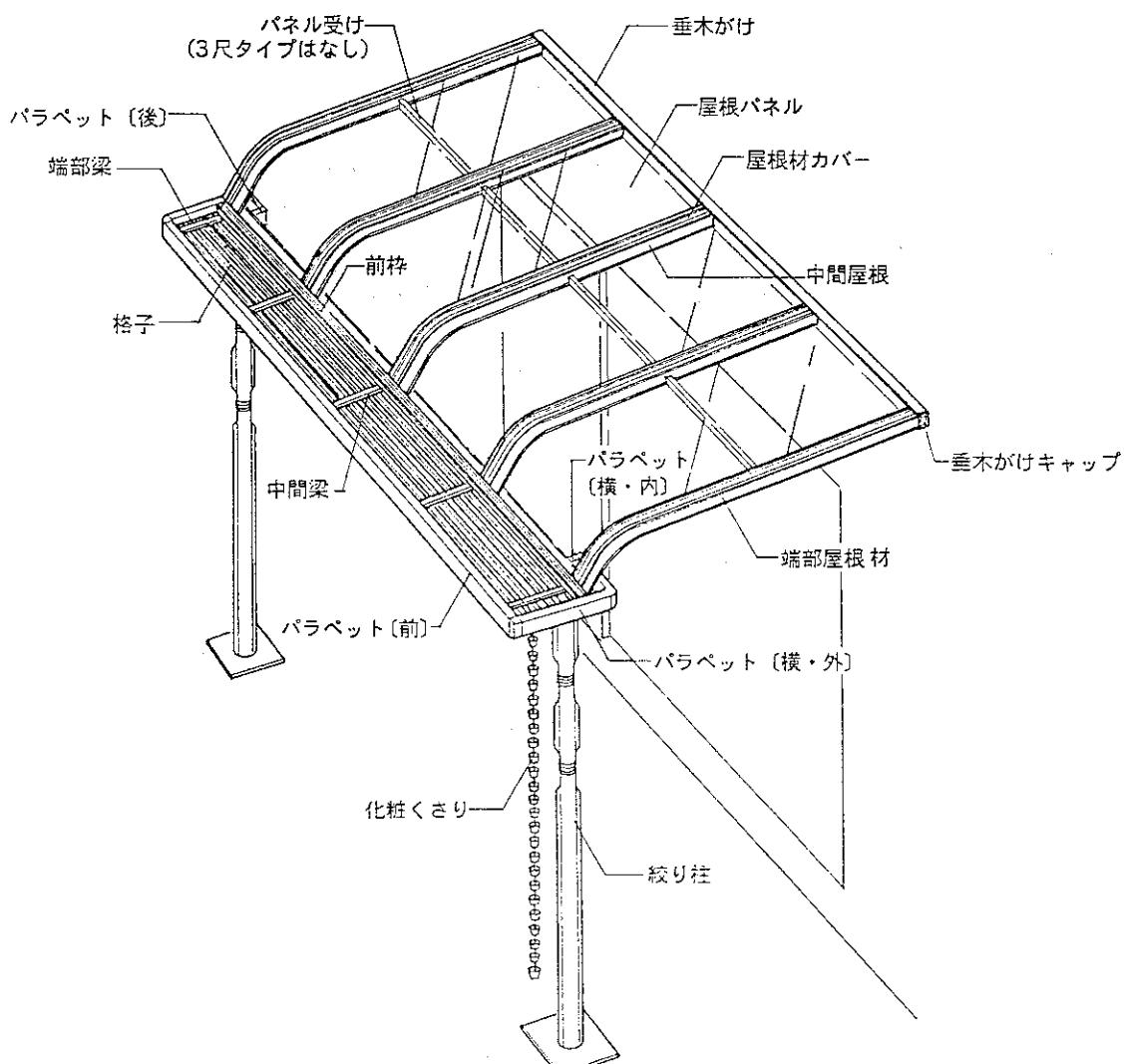


TOSTEM

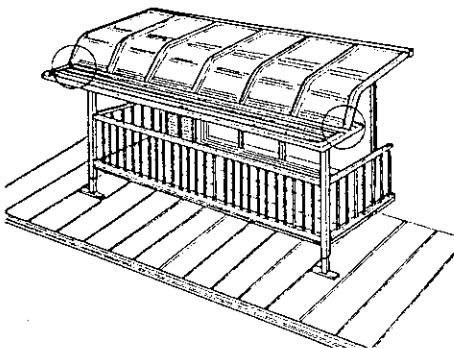
カーブテラス C型

取付け説明書



取付け手順〈バルコニーの場合〉

カーブテラス部の組立てについては標準タイプと同じです。
※取付けにあたっては、専用の部材、部品をご使用ください。



[柱の切詰め加工]

- 現場実測して寸法を出し、柱の切詰めを行ってください。

[バルコニーへの取付け]

- 連結柱・ジョイント材など専用部材を使用し、右図要領で取り付けてください。

[必ず守っていただきたいこと]

- 屋根置き式バルコニーに屋根を取り付ける場合、風による吹き上げが心配される現場では、補強プレスを両端に取り付けてください。

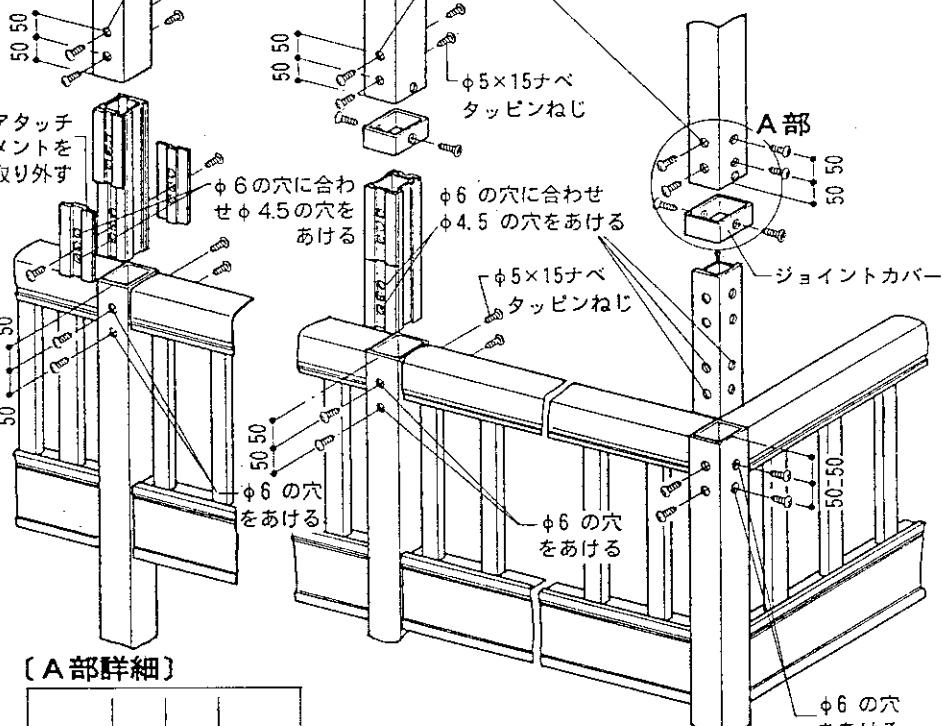
【バルコニーへの取付け】

〈柱建て中間柱の場合〉

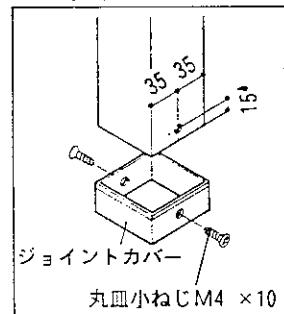
柱を切断した際
 $\phi 6$ の穴を開ける

〈主柱は屋根置き・柱建て共通〉

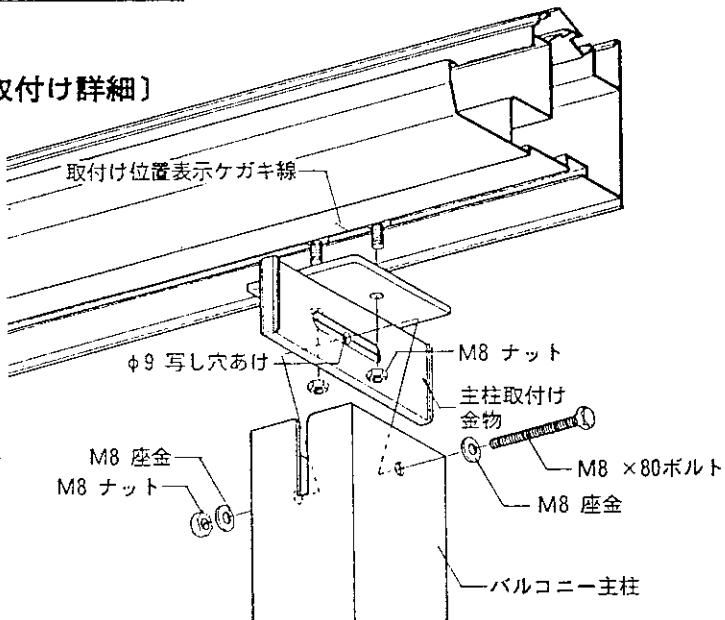
柱を切断した際 $\phi 6$ の穴を開ける



[A部詳細]

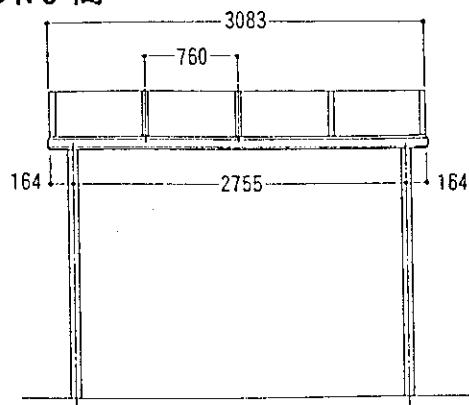


[主柱取付け詳細]

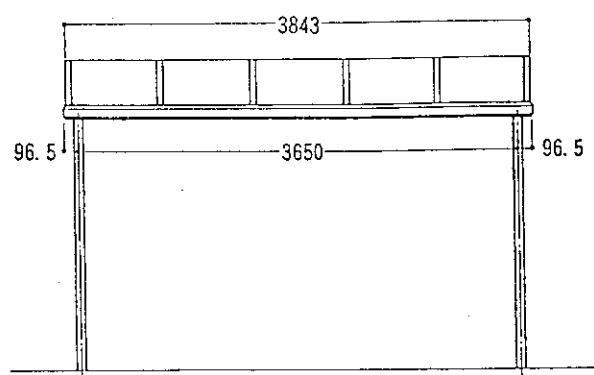


姿図

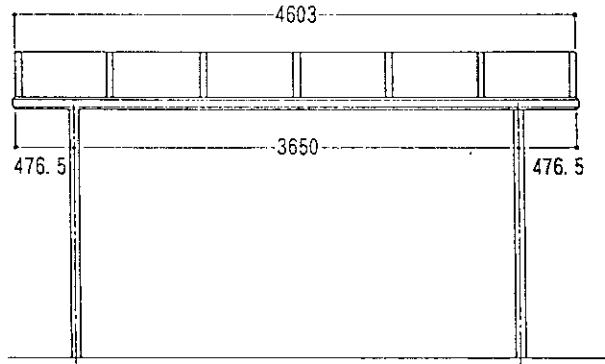
●1.5間



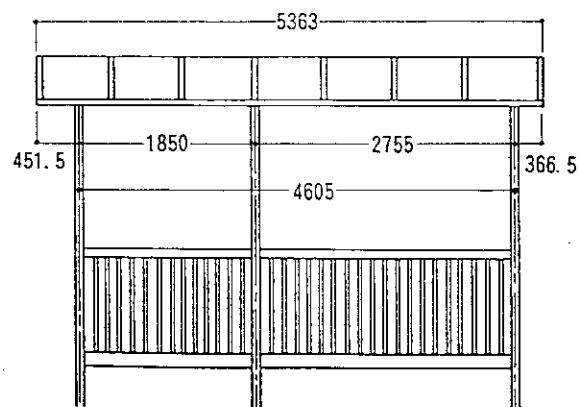
●2.0間



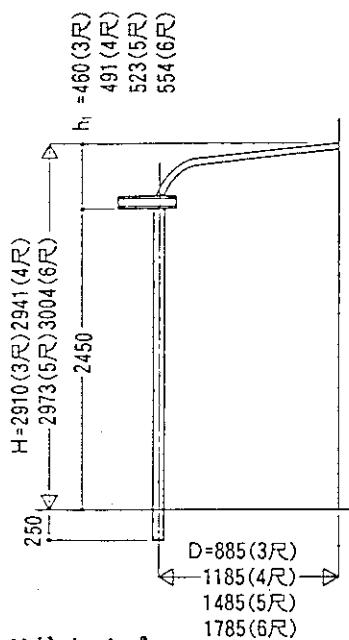
●2.5間



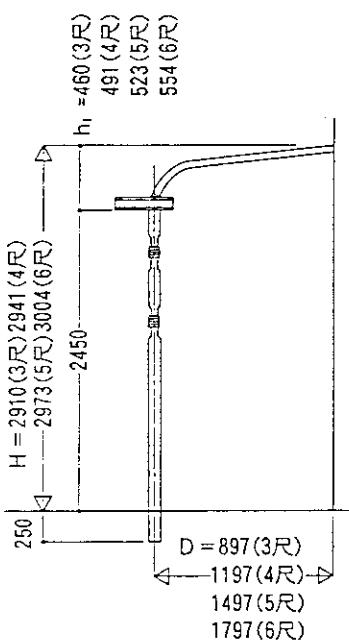
●屋根用2.5間



●角柱タイプ



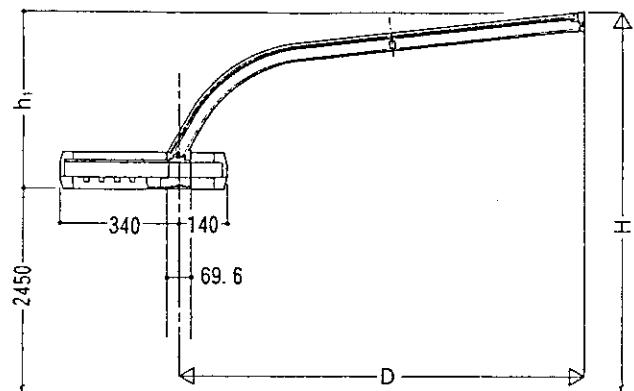
●絞り柱タイプ



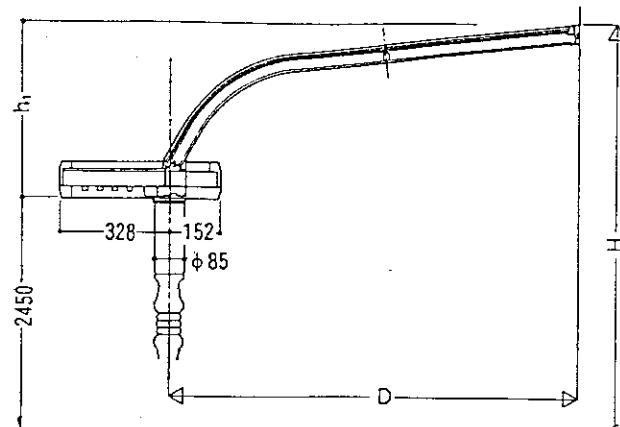
梱包種類	商品コード	数量
(屋根用) 主柱セット	WAHB121	1
(屋根用) 中間柱セット	WAHB123	1
長さ(開口)部材セット 1.5間	WAHB327	2
屋根材セット(端部) 4尺用	WAHB404	1
屋根材セット(中間部) 4尺×3本入	WAHB534	2
屋根パネルセット (4尺×2枚入)	WAHZ027	2
屋根パネルセット (4尺×3枚入)	WAHZ034	1

基本図

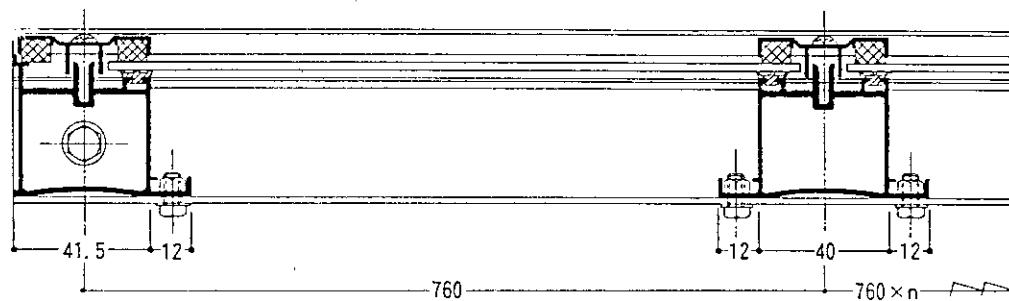
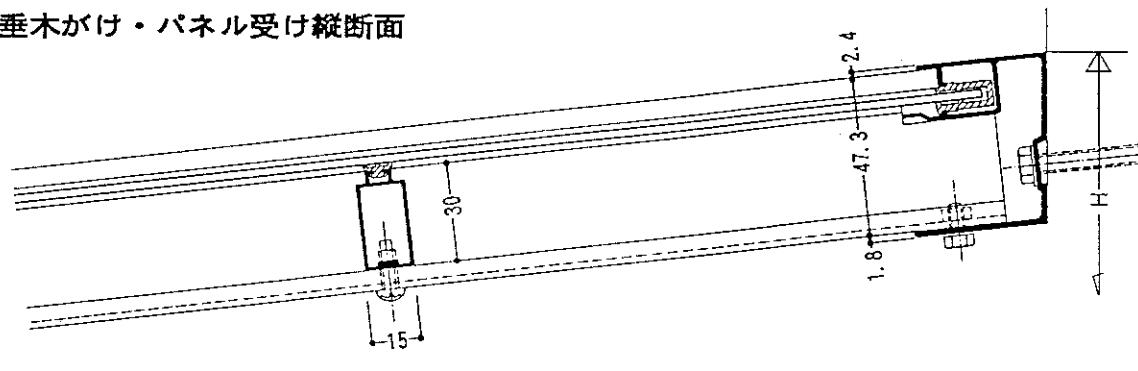
●前枠部縦断面（角柱納まり）



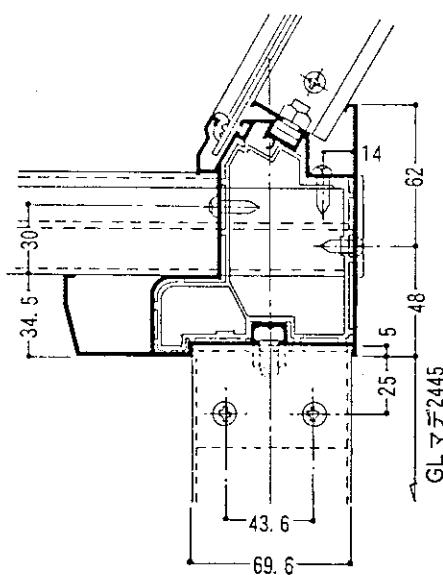
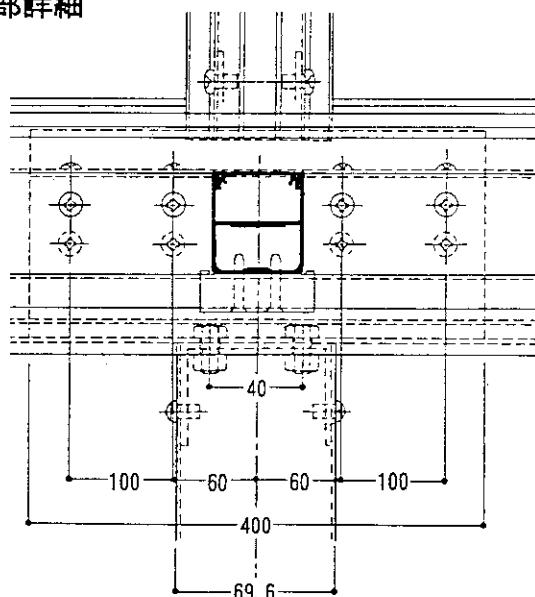
●前枠部縦断面（絞り柱納まり）



●垂木がけ・パネル受け縦断面



●連結部詳細



施主さまへのお願ひ

[ねじ・ボルト類の増締め]

トヨーサッシ製品をご採用いただき誠にありがとうございます。製品をいつまでも美しく、そして快適にご使用いただくために、ぜひお読みください。そして日々のお手入れにお役立てくださるようお願いします。

- 6カ月程度のご使用後、ねじ・ボルト類は増し締めをしてください。

[雪下ろしについて]

- 積雪時には、危険ですので早めに雪を下ろしてください。

雪下ろしの目安………一般地域用 60形（積雪 20～30cm）

- 雪下ろしなどで屋根に上がる場合、屋根材とパネル受け以外に乗らないでください。

[清掃について]

- 腐食の防止には、定期清掃が一番です。

簡単な水洗いだけでサビは防げます。定期的に年1～2回程度水洗い、空ぶきをするだけでぐんと長持ちします。汚れの特にひどい、工業地帯や海岸のすぐそばなどでは清掃回数を増やしてください。

- アルミニウム表面の保護膜に傷をつけますと、腐食を早めます。清掃には布やスポンジなどの柔らかいものを使用し、やむを得ない場合のみスコッチブライトをご使用ください。金属性ブラシや金ベラは絶対に使用しないでください。

- 小石・砂などがアルミの表面についたまま布でこすると、表面を傷つけます。あらかじめ取り除いてください。

- 洗剤は中性のものだけを使用してください。酸性やアルカリ性のものはアルミ表面の保護膜を侵し、サビの原因となります。

[建物の立地条件と清掃の頻度例]

立地条件	清掃回数
臨海工業地帯	6～12回／年
海岸・工業地帯	4回／年
商業地帯	3～4回／年
田園地帯	3回／年

■汚れの程度と清掃方法

●軽い場合

…………水でぬらしたぞうきんでふきます。

●ひどい場合

…………中性洗剤をうすめた液で汚れを落した後、洗剤が残らぬよう水洗いし、空ぶきをします。

●著しく腐食

…………中性洗剤をつけた、スコッチブライトまたは目しサビが出た場合の細かい紙ヤスリで、部分的に軽くこすり、汚れやサビを除いた後水洗いし、表面に適した塗料（家具用ワックス等）で補修してください。

注1)スコッチブライト（住友3M）の粒度はウルトラファイン。

注2)こする際は一定方向（アルミ押し出しの筋目方向）にこります。

注3)洗剤（薬品類）は、説明書をよく読んでから使用してください。

[部品の交換について]

- 部品が必要な場合、または製品についてお問い合わせは、最寄のトヨーサッシ取扱い店、またはトヨーサッシ営業店にお願い致します。

工務店さまへのお願い

通常の取扱いによって生じた不具合については、原則として当社の責任において交換・補修しますが、下記の場合は責任を負いかねますので十分ご注意ください。

- 当社が表示した取扱い上の注意事項及び、維持管理の注意事項を守っていなかった場合。
 - 当社が表示した以上の性能を必要とする用途や個所（地域）に製品を設置した場合。
 - 工事上の欠陥があった場合。
 - 製品に他の構成材を加えたり、又は、規格外に加工して製品の形態を変えている場合。
 - 風・雪による落下や飛来による損傷。
 - 製品の表面に、特に塩害や大気中の砂じんやばい煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどの反応物質が付着しておこる腐食。
 - 不可抗力（天災、地変、異常気象（風、雪、水害など）地盤沈下、火災、騒乱など）による場合。
 - 製品の構成材であっても、当社の供給責任範囲外のもの（アクリルパネルなど）。
 - 当社以外のバルコニーと組み合わせたもの
- ※本製品はテラスのJIS A6602の規格に合わせて設計してあります、JIS規格外となります。ただし、強度・耐久性などの品質についてはJIS製品と変わりありません。

〔タイプの選び方〕

- カーブテラスC型は一般地域用60形仕様です。
一般地域用60形積雪30cm以下の地域

- お願い ■組立てねじ・ボルトは、締め忘れぬよう、また使用中緩まぬよう、確実に締め付けてください。
 - タッピンねじの下穴は、太いドリルを使用するとねじの保持力が下がりますのでご注意ください。
 - アルミ形材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触する時は、絶縁処理をしてください。
 - 取付け時は、パネル受けと屋根材以外のところには乗らないでください。
 - アクリルパネル（屋根）を切り詰める場合は、アクリルカッターをご使用ください。
 - アクリル板用シール材は、当社指定のものをお使いください。詳細は、本文の記事をご覧ください。
 - プラグ類を使用して、モルタル部分だけで固定することは、非常に危険ですから、絶対に行わないでください。
- ※この説明書は、施工完了後施主様にお渡し願います。

■ INDEX

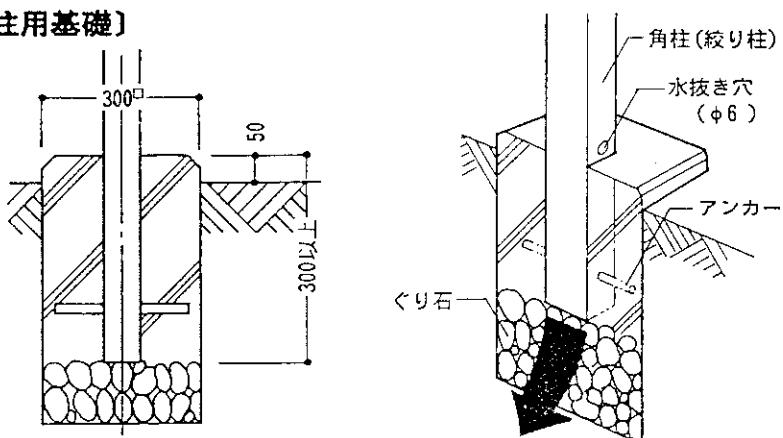
■取付け手順（標準タイプの場合）.....	1～5
①柱基礎.....	1
②垂木掛けの取付け.....	1
③角柱（絞り柱）・前枠・屋根材・パネル受け ・端部梁・梁カバー・の取付け	2
④中間梁・格子・バラベット・梁カバー・の取付け.....	3
⑤屋根パネル・屋根材カバーの取付け	4
⑥シーリング処理.....	5
⑦化粧くさり・雨樋の取付け	5
■取付け手順（連結タイプの場合）.....	6・7
■取付け手順（バルコニーの場合）.....	8
■姿図	9
■基本図	10
■施主さまへのお願い	11
■工務店さまへのお願い	12

取付け手順〈標準タイプの場合〉

柱基礎

- 柱埋込み穴の位置を出し、柱基礎穴を掘り込みます。
- ※地下埋設物（給排水管など）に影響を及ぼさないようご注意ください。
- ※コンクリート（またはモルタル）には急結剤は絶対に使用しないでください。使用しますとアルミが腐食するおそれがあります。

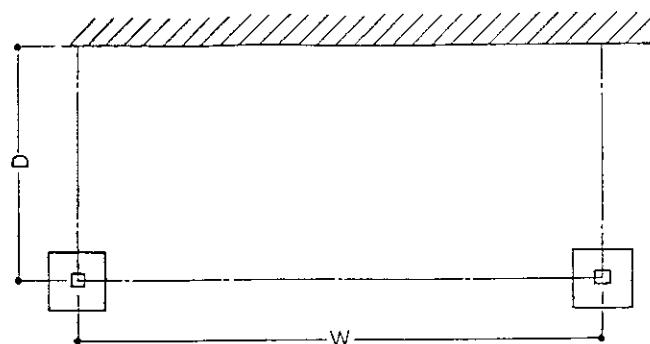
〔柱用基礎〕



〔墨出し位置〕

W寸法
2755 (1.5間)
3650 (2.0間)
3650 (2.5間)

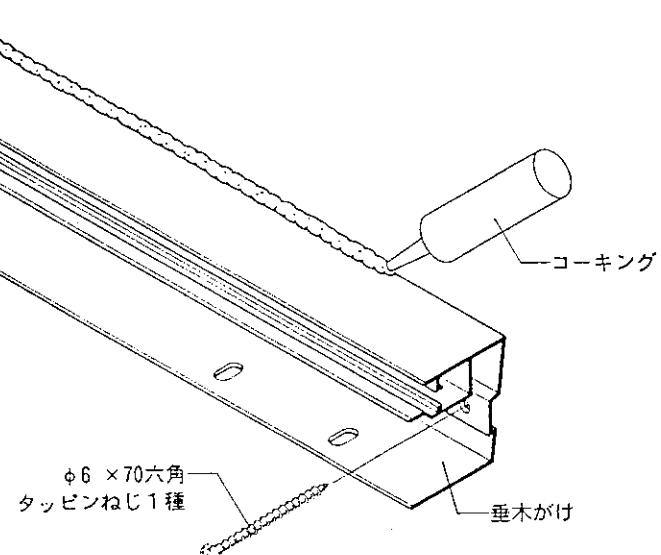
D寸法	
角柱タイプ	絞り柱タイプ
885 (3尺)	897 (3尺)
1185 (4尺)	1197 (4尺)
1485 (5尺)	1497 (5尺)
1785 (6尺)	1797 (6尺)



〔垂木掛けの取付け〕

- 垂木掛けを軸体に取り付ける際、必ず水準器で水平を出してください。
- 垂木掛けは、必ず軸体の柱・間柱など、構造材に取り付けてください。

〔垂木掛けの取付け〕



取付け手順(標準タイプの場合)

④角柱(絞り柱)・前枠・屋根材・パネル受け・端部梁・梁カバーの取付け

[前枠の組み立て前の作業]

- 前枠の上下部の溝に金物取付けボルトを差し込みます。上部には屋根材・前枠固定金物を、下部には柱取付け金物(絞り柱取付け鋲物)を取り付けます。
- 前枠の側面には、梁取付け金物を取り付けます。
- 前枠キャップ取付け金具・前枠キャップを取り付けます。この時、必ずシーリング材を充てんしてください。
- 端部梁を前枠端部の切欠き部にセットし、固定後、梁カバー(後)を取り付けます。

●ボルト本数(M8×16ボルト)

	1.5間	2.0間	2.5間
上部溝	5	6	7
下部溝	4	4	4

[角柱(絞り柱)の取付け]

- 柱を前枠の柱取付け金物(絞り柱取付け鋲物)にねじで固定します。

[屋根材の取付け]

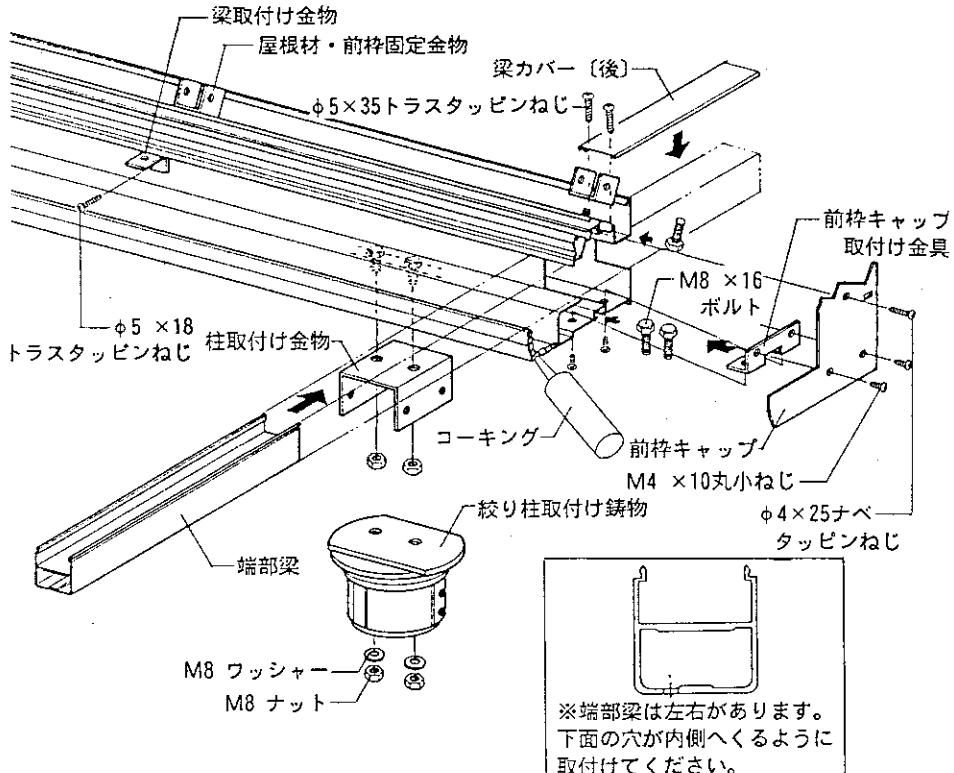
- 屋根材を前枠の固定金物と垂木がけにねじ止めします。

[パネル受け(3尺タイプを除く)の取付け]

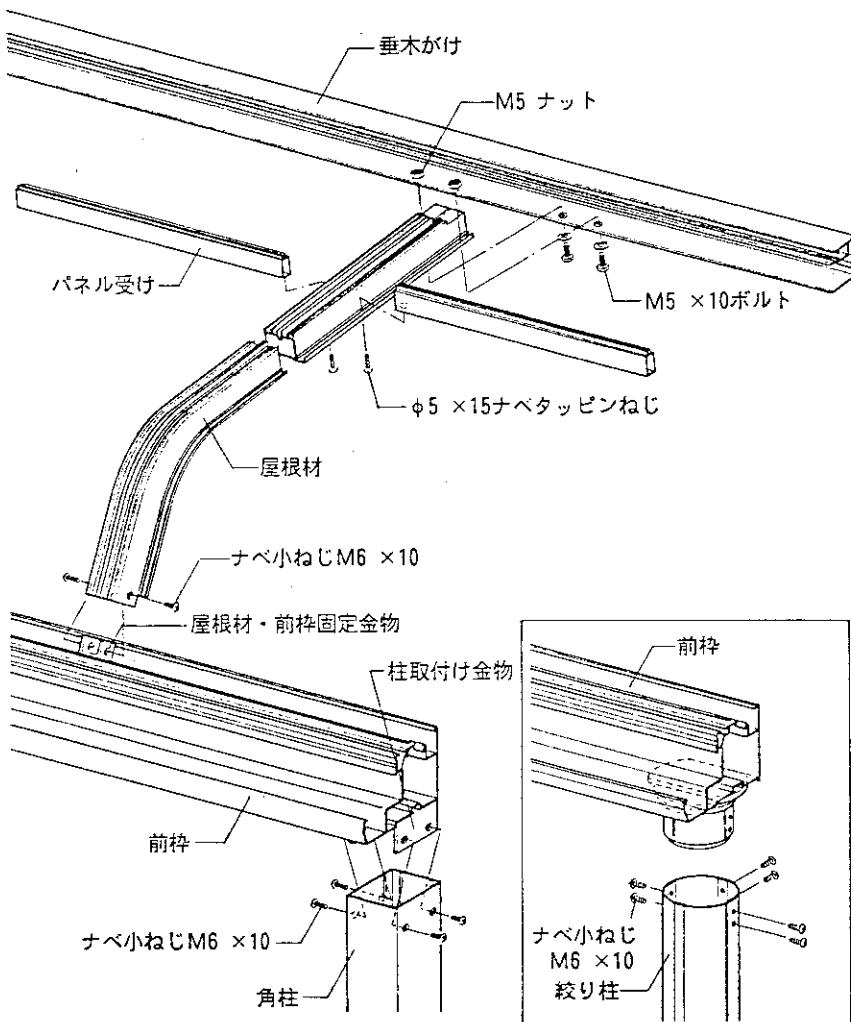
- 屋根材の間にパネル受けを取り付けます。

※組立ての際、部材の対角を正確に出してください。

[前枠の組立て前の作業]



[角柱(絞り柱)・前枠・屋根材・パネル受けの取付け]

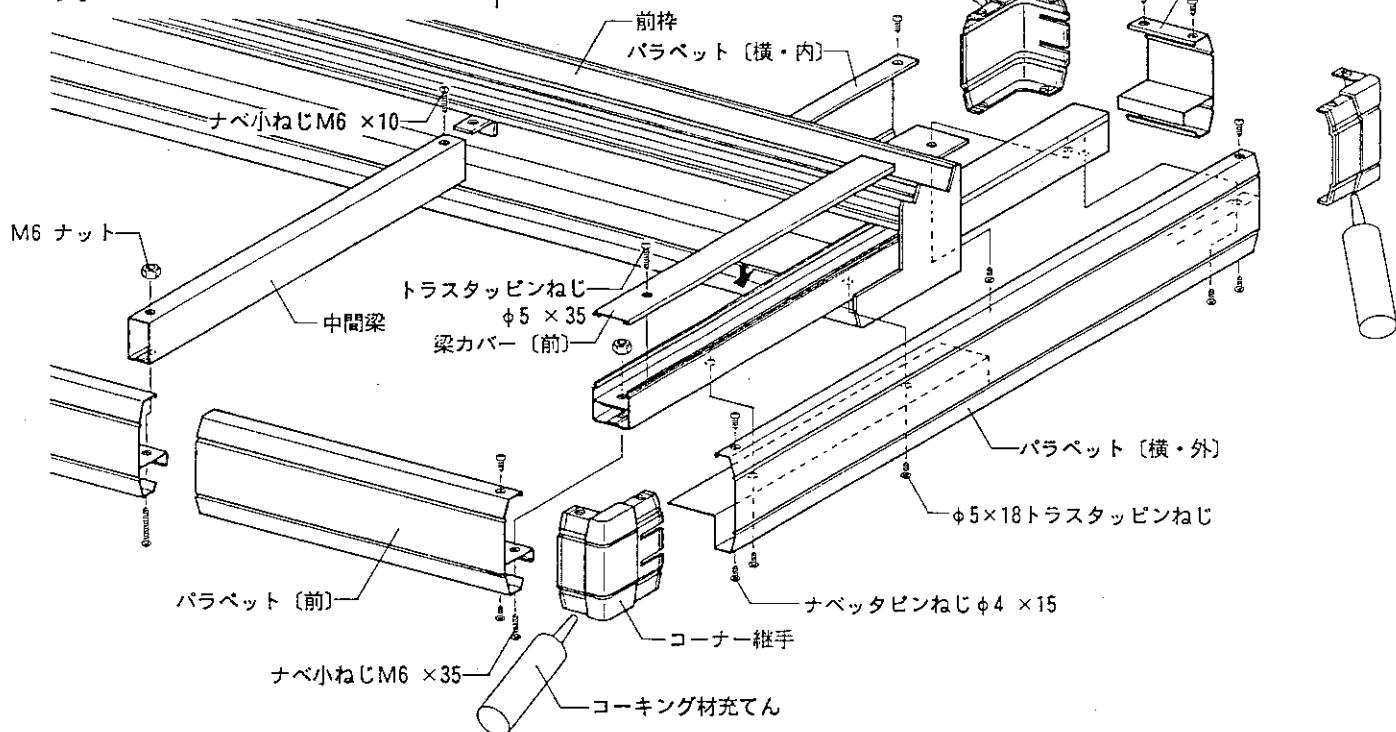


取付け手順<標準タイプの場合>

図中間梁・格子・バラベット・梁カバーの取付け

[中間梁・バラベット・梁カバーの取付け]

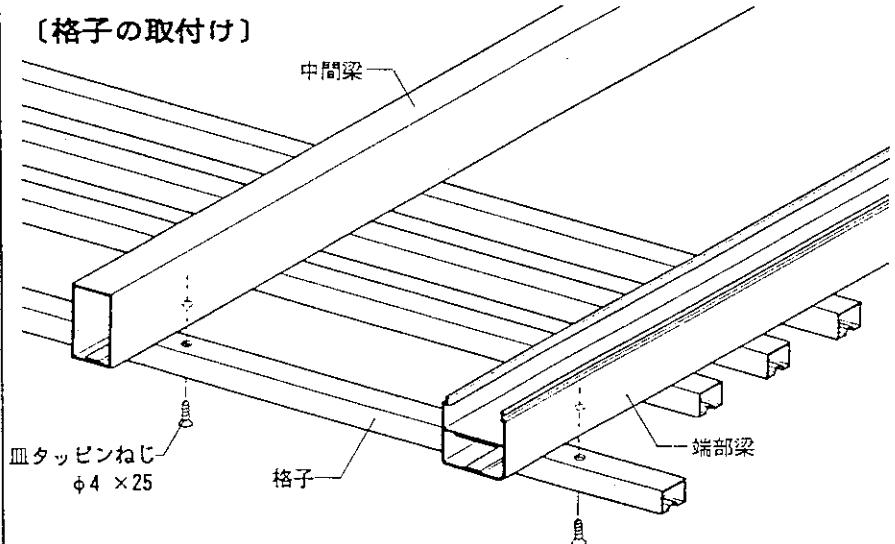
- 梁取付け金物に中間梁をとり付けます。
- それぞれのコーナー部にコーナー継手を取り付け後、バラベットを端部梁、中間梁に固定します。なおコーナー継手取付け部にはシーリング材を充てんします。
- 端部梁に梁カバー(前)取り付けます。



[格子の取付け]

- 格子をセットし、端部梁・中間梁に固定します。

[格子の取付け]



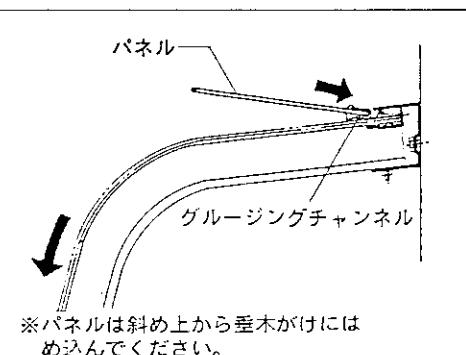
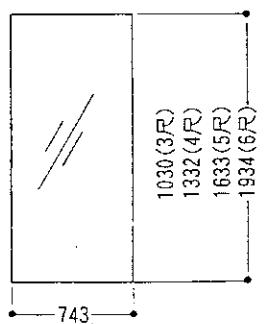
取付け手順〈標準タイプの場合〉

■屋根パネル、屋根材カバーの取付け

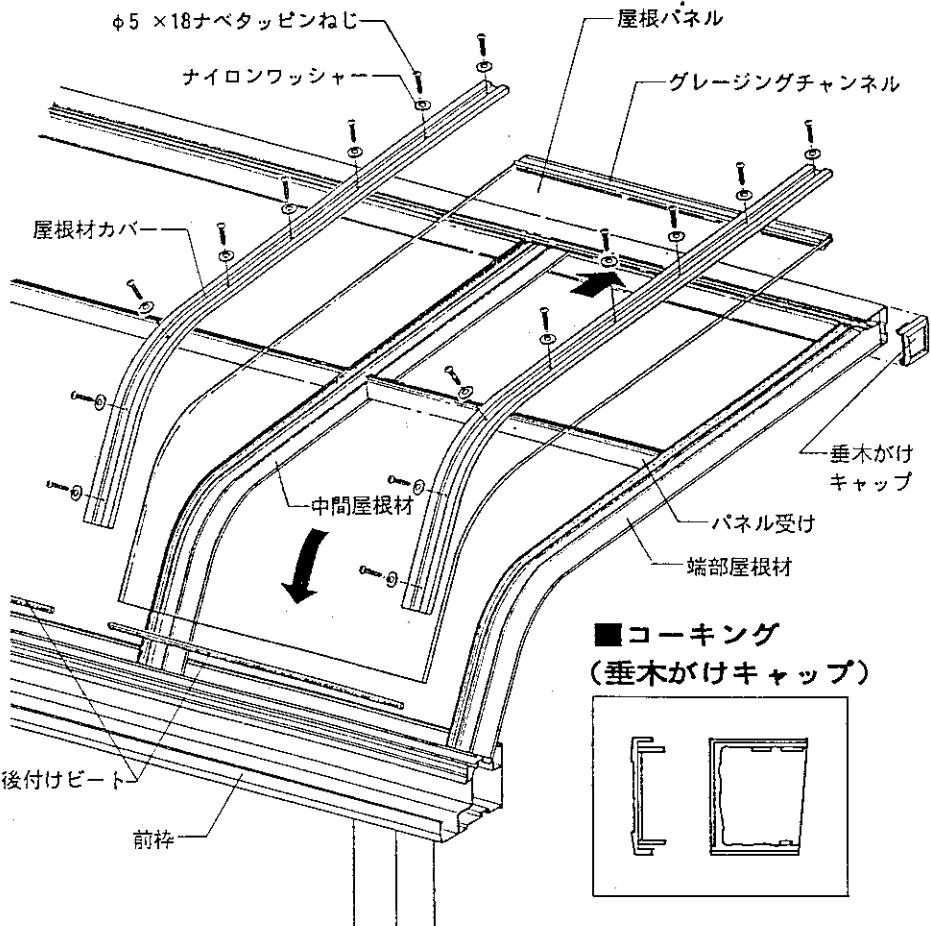
〔屋根パネルの取付け〕

- 屋根パネルの上端に、グレージングチャンネルを取付け、垂木掛けに差し込みます。
- 屋根材カバーで屋根パネルを固定します。その際、ねじ止めは下部より行ってください。
- 屋根パネルの下部は、前枠に後付けビードを取り付けて固定します。
- 垂木掛けの両端部にキャップを取り付けます。この時、必ずシーリング材を充てんしてください。
※アクリル公差などの関係で、屋根パネルが大きい場合はカットしてください。
- ※屋根パネルは、左右のみ込み代が等しくなるようにセットしてください。

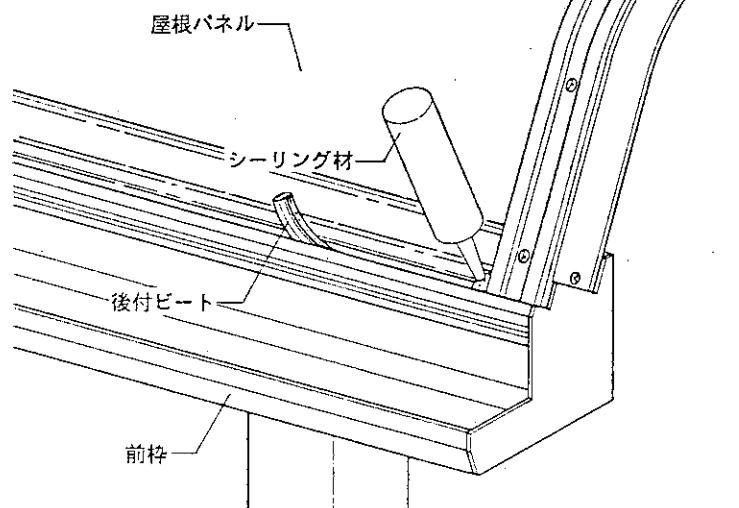
〔屋根パネル寸法 (カーブテラスB型用)〕



〔屋根パネル・屋根材カバーの取付け〕



〔後付けビートの取付け〕



取付け手順〈標準タイプの場合〉

■シーリング処理

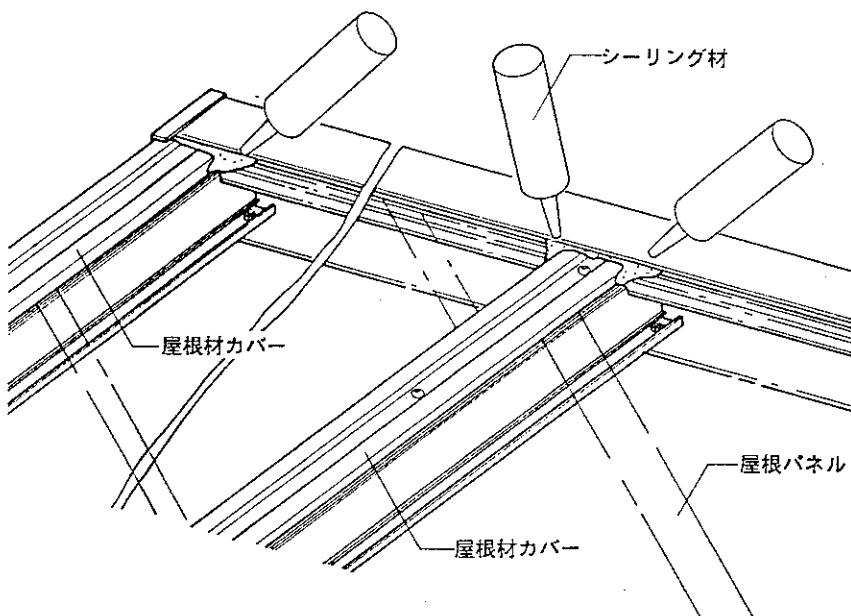
- 屋根パネル及び屋根材カバー取り付け後、右図の個所をもれなくシーリングしてください。

注)シリコンシールを行う場合、アクリル板のヒビ割れなどが考えられますので、当社指定のシリコン材またはプライマーを使用してください。

[東芝#380・#381・東レSE555]

など。なお、東芝#381・東レSE555はプライマー不要

〔シーリング処理〕



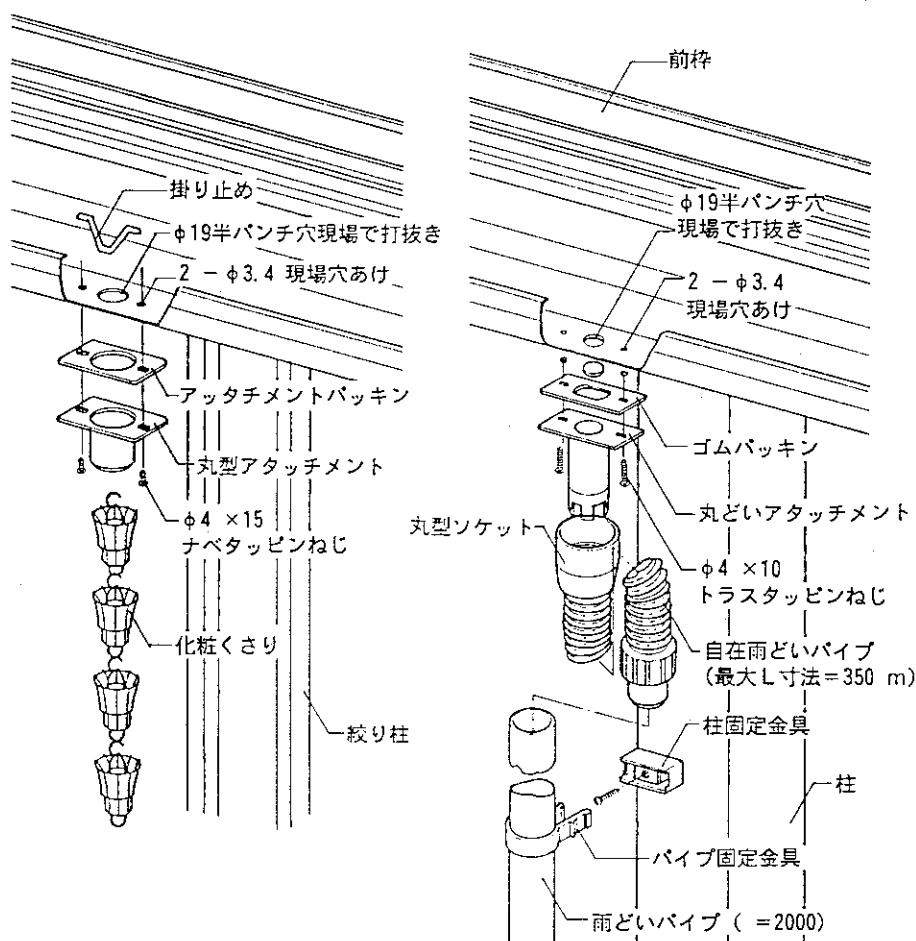
■雨どいの取付け

□化粧くさり、雨どいの取付け

[単体使用の場合]

- 前枠左右には、化粧くさり（雨どい）取付け用の半パンチ穴加工がしてあります。取付け側を打ち抜きます。

- 化粧くさり（雨どい）を右図の要領で取り付けます。



取付け手順<連結タイプの場合>

連結部以外の取付けについては、標準タイプと同じです。

[前枠・垂木掛け・パラベット・格子の切詰め]

- 連結側を、右図要領で切り詰め、加工をしてください。

[垂木掛けの取付け]

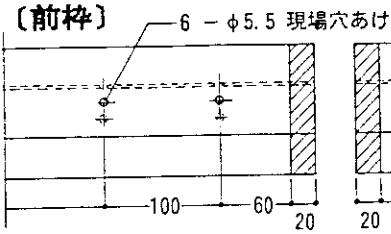
- 垂木掛けの軸体取付け穴($\phi 7$)を、柱・間柱など軸体の構造体位置に合わせてあけ直してから取り付けてください。

[連結部の組立て]

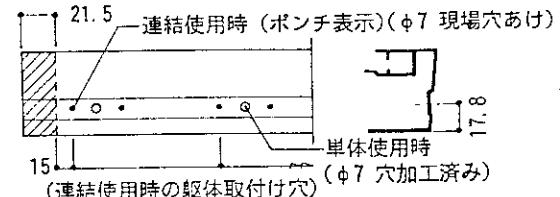
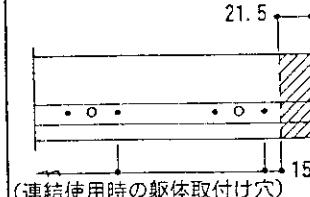
- 右図の要領に従って、それぞれの取付け金具を前枠に取り付け、スリーブで接続後、角柱(絞り柱)をセットします。
- 連棟梁をセットし、タッピングねじで固定後、屋根材：梁カバー(前)を取り付けます。
- パラベット・格子は、パラベットカバー：格子カバーでそれぞれ接続します。

[前枠・垂木掛け・パラベット・格子の切詰め加工]

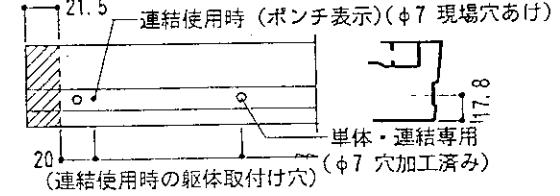
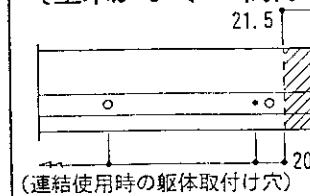
[前枠]



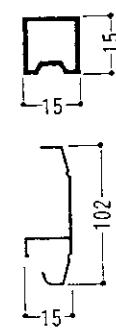
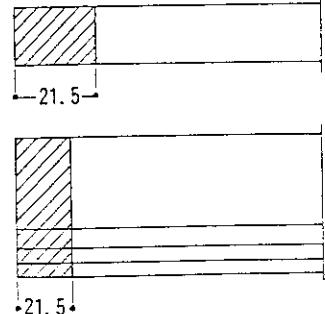
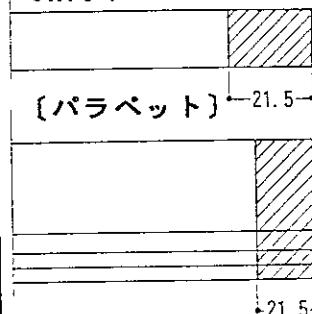
[垂木掛け (1.5間・2間)]



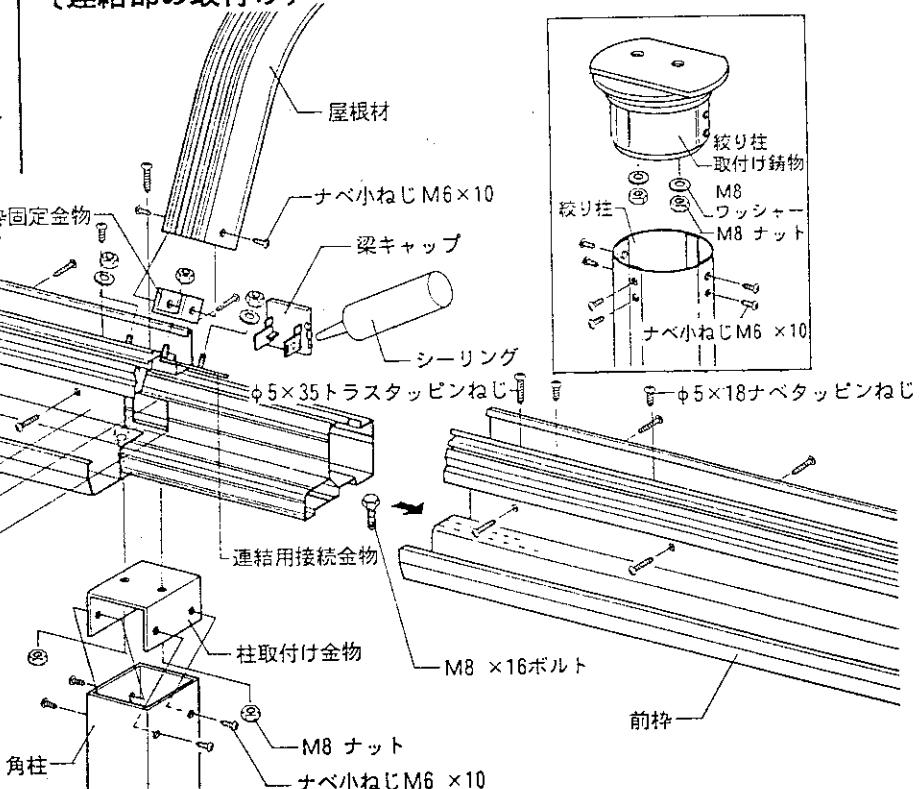
[垂木掛け (2.5間)]



[格子]



[連結部の取付け]

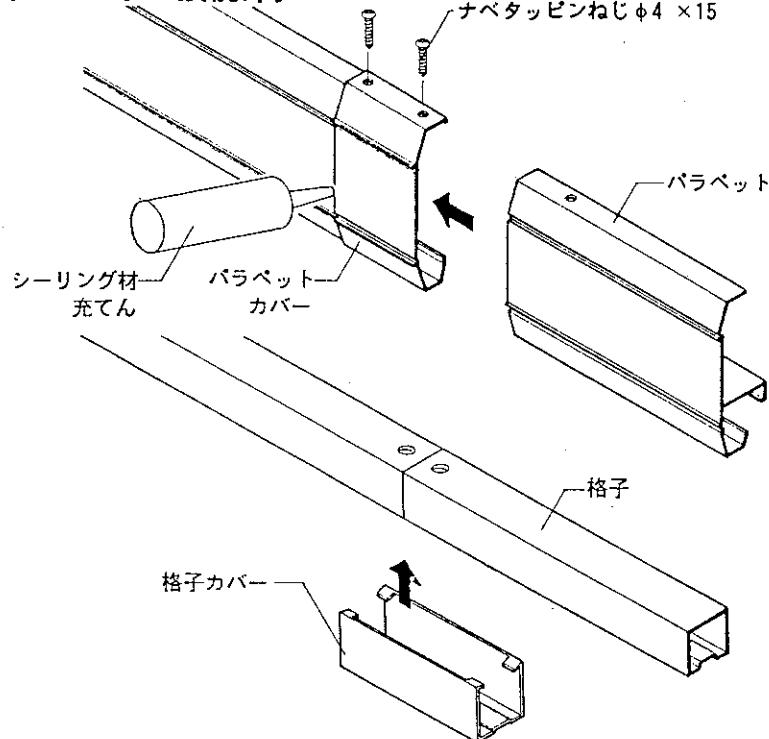


取付け手順〈連結タイプの場合〉

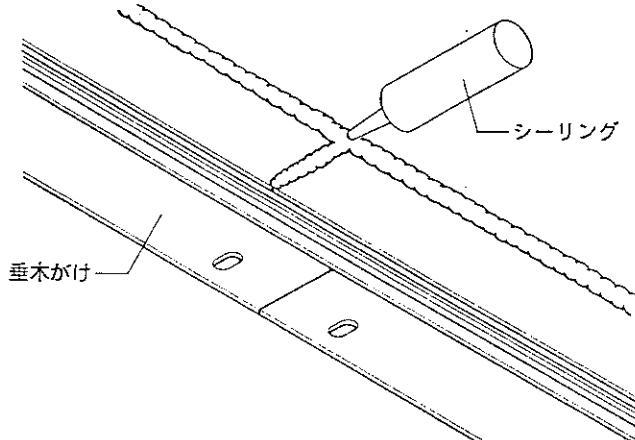
〔連結部のシーリング〕

- 連結部（前枠・垂木がけ・梁キャップ・パラベット）には必ずシーリング材を充てんしてください。

〔パラベット接続部〕



〔垂木がけ接続部〕



〔連結タイプの化粧くさり（雨どい）の取付け〕

- 連結タイプは柱位置が単体の場合と異なるため、半パンチ穴が一部使用できなくなります。柱芯から半パンチ穴中心までの距離は、化粧くさりの場合は120mm以上、雨どいの場合は65mm以上必要です。
- 柱位置が決まりましたら、柱芯より化粧くさりは120mm～150mm、雨どいは70mm離して右図の要領に従って穴あけ加工を行い、取り付けてください。

〔連結タイプの化粧くさり（雨どい）取付け位置〕

